

私たちがめざすもの それは・・・

ゆたかな緑 きれいな水 いきた大地

NPO法人水環境研究所

わきみず通信

第10号

平成24年1月15日発行



加賀清水 (佐倉市井野)

活 動 し ポ ー ト

湧水めぐり (平成23年11月12日)

佐倉市臼井公民館主催による「湧水めぐり」が爽やかな秋晴れのもと実施されました。我がNPO法人は公民館の依頼で臼井地域内にある湧水3ヵ所(下井戸、雷電墓横の湧水、権現水)の講師・ガイド役



家康公ゆかりの「権現水」

を務めました。参加者は地元住民の方6名でしたが、普段気が付くことのない湧水の存在に驚いた様子で、宿場町として栄えた歴史ある、臼井の町が、実は湧き水が町民の暮らしに深く関わっていたことや地形と湧き水との話に熱心に耳を傾けていました。



熱心にメモをとる参加者の皆さん。

畔田沢調査 (平成23年12月10日)

本調査は、畔田沢中流部の志津霊園開発工事に伴う水環境への影響をモニタリングするという目的のもと(財)印旛沼環境基金の助成を受けて昨年に引き続き実施されています。今回は今年度2回目の調査



完成に向けて工事が進む志津霊園

となり、分析のための試料採取や流量調査も行いました。同時に実施した水生生物調査ではテナガエビやギンブナなども確認できました。志津霊園内の水路には、かつて谷津を潤していた湧き水がパイプから出ていました。結果は1月の環境基金主催の報告会で発表することになっております。



水質、流量調査の様子。

運営理事会だより

1 2月5日に開催された定例運営理事会の主な議事内容を報告いたします。

- (1) 今橋理事長より、印旛沼環境基金助成事業の成果報告会の案内と原稿執筆要領の案内がありました。
- (2) 瀧副理事長より、新規事業の一つとして提案されているテキスト作りの原稿執筆要領について説明がありました。
- (3) 年報編集委員より年報について説明がありました。その主な内容は以下の通りです。
 - ①年報は平成18年度から平成22年度までの事業活動内容を掲載する予定です。
 - ②昨年度末～今年度にかけて実施した湧水モニタリングの成果については次年度の年報に掲載することとなりました。
 - ③年報はオンデマンドによる印刷・製本とし、事務局が業者からの見積もりを依頼することになりました。

これからの活動予定

1. **定期調査**：毎月印旛沼流域の湧水調査を実施しております。調査に参加をご希望される方は、事前に堀田和弘理事 (E-Mail : dzf01212@nifty.ne.jp) に直接ご連絡のうえ、日程、集合場所、集合時間等をご確認ください。
2. **印旛沼環境基金助成事業成果報告会**：平成24年2月3日(金) 印旛合同庁舎2階大会議室
NPO法人水環境研究所は「畔田沢における水環境状況調査その2」の題目で、午前中3番目に発表予定です。
3. **佐倉市中央公民館主催佐倉学講座「印旛沼の文化と自然」**：
NPO法人水環境研究所は、下記の2回にわたり講師、進行を担当いたします。ご都合のつく方はスタッフとしてぜひご参加ください。
会 場：佐倉市中央公民館 学習室3 **午前10時から12時**
1回目：平成24年1月28日(土) 「印旛沼と人とのかかわり」
2回目：平成24年2月4日(土) 「印旛沼の植物と千葉県の湧水」

ニュース!

「月刊 水」(月刊水発行所)2月号にNPO法人水環境研究所の活動を紹介する記事が掲載されています。記事は瀧和夫副理事長が執筆されました。お読みになりたい方は事務局までご連絡ください。

「わきみず通信」第10号

発行 平成24年1月10日

編集・著作 特定非営利活動法人水環境研究所

URL : <http://www.wakimizu.org/>

お問い合わせ・各活動への参加申し込みは下記まで

e-mail: office_iwe@wakimizu.org

*****編集後記*****

やっと「湧き水通信」リニューアルしての発行となりました。できるだけ皆さんに情報発信の回数を多くできるように内容をコンパクトにしましたがいかがでしょうか。

さて、去年は、日本列島激災の年でした。人間の英知がまだまだ自然の力に及ばないことを思い知らされました。かつて、私たちの祖先が太陽、月、水、山を神として崇めたように、自然を征服するのではなく、自然に生かされているのだという謙虚な姿勢で臨みたいと考えています。
